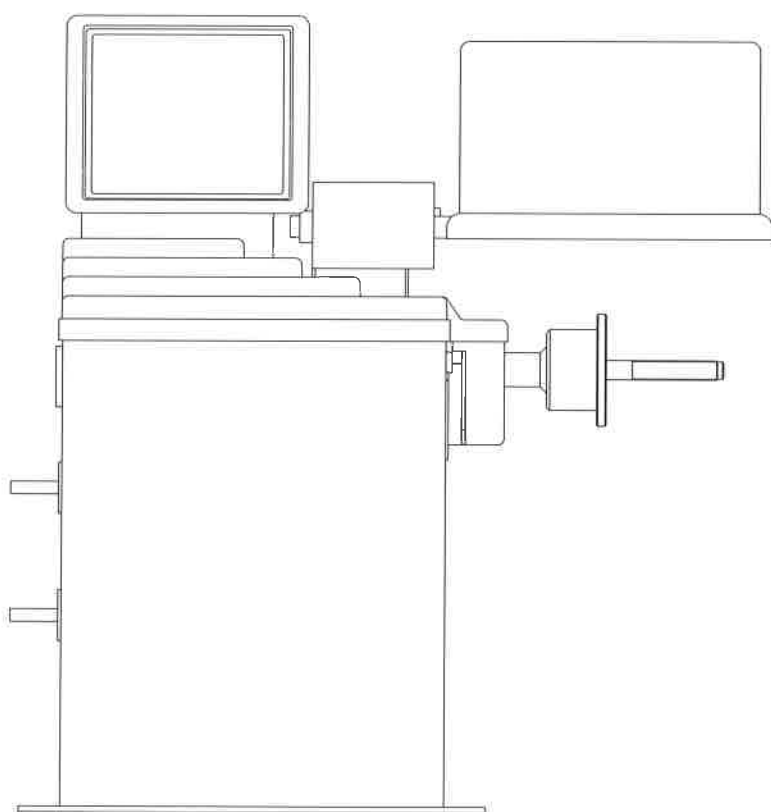


取 扱 説 明 書

COMPUTER WHEEL BALANCER

DYNAMAX B1-LA



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。



注 意

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつでも使用出来るように大切に保管してください。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	2
(1) 警告ラベル貼付位置・内容	3
(2) 危険・注意事項	5
(3) 一般的な注意事項	6
(4) 設置上の注意	6
(5) レーザーについて	7
4. 各部の名称	8
(1) 本体部の名称	8
(2) 操作部の名称	9
5. 操作手順	10
(1) ホイールの装着手順	10
(2) モード切り替え	11
(3) 測定手順	12
(4) WAS機能の使用方法	17
6. 標準付属品・オプション部品	19
7. 定期点検	20
(1) 定期点検	20
(2) 消耗品	20
8. 故障と処置	20
9. 仕 様	22
10. 製品保証規定	23
(1) 保証規定	23
(2) 保証請求方法	23
(3) アフターサービスについて	24
(4) 設置（据付）及び移設について	24

1. まえがき

この度は弊社の **ホイール balanser** をお買上頂き、誠にありがとうございます。

本機をご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用下さい。

取扱説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと、適正な本機の能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので、充分ご理解のうえ正しくご使用下さい。

また、この取扱説明書はいつでもご使用になれるように大切に保管しておいてください。

尚、取扱説明書・注意ステッカー等は大切に ご使用して頂き、万一紛失・汚損された場合は、速やかに購入の上、正しく保管・貼付してください。

2. 使用目的

このホイール balanser は普通乗用車のホイールバランスを測定、修正することの出来るホイール balanser です。

尚、オプション部品を取り付けることによって、ライトトラックのホイールバランスの測定、修正が可能です。

3. 危険・警告・注意事項



警 告

この取扱説明書では「**危険**」「**警告**」「**注意**」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事柄が記載されていますので、必ず理解してからご使用してください。



危 険……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警 告……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



注 意……取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1) 警告ラベルの貼付位置・内容

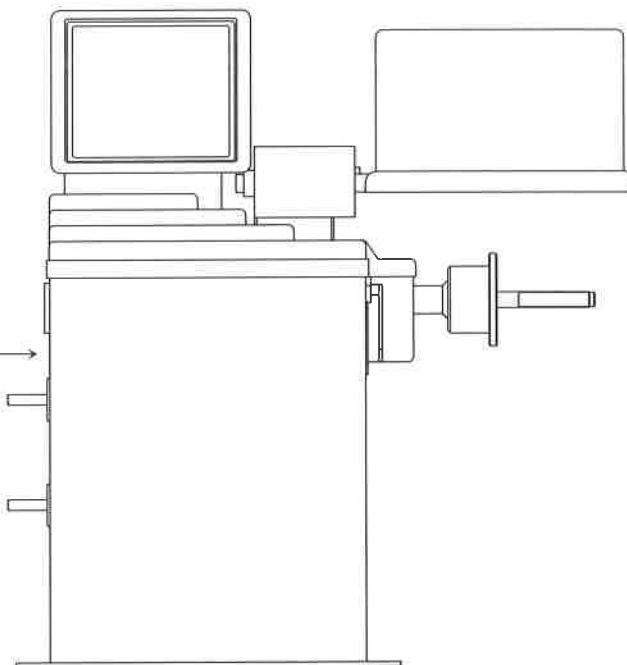


注 意

警告ラベルは大切に使用してください。剥がれたり汚損した場合は速やかに購入のうえ、正しく貼付してください。

警告ラベル貼付位置

 警 告	
 回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないうこと。 巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。	 回転中はホイールガードを開けないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 ホイールはゆるまないよう確実に取り付けすること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により思わぬ事故の可能性があります。	ここに示す警告事項は、ホイール・バランスの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が規定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。
巻き込まれ防止のため、タイヤカバーを必ず設置し取り外さないで下さい。	



警告ラベル内容

※下記警告ラベルが本体に貼付されています

 警 告	
 回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないこと。 巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。	 回転中はホイールガードを開けないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により思わぬ事故の可能性があります。	ここに示す警告事項は、ホイールバルancerの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。
巻き込まれ防止のため、タイヤカバーを必ず設置し取り外さないで下さい。	

(2)危険・注意事項



注 意

- (1)操作に当たっては作業服、安全靴を身につけ安全な作業を行って下さい。
- (2)回転中に振動や異常音、変形回転が発生したら、ホイールガードを開けずにストップスイッチを押し、直ちに停止させて下さい。
- (3)センター軸が緩んでくるとホイールのセンターリングが不完全となり誤差の原因となります。時々確認して下さい。
- (4)ウエイトはしっかりと指定場所に取り付けて下さい。
- (5)タイヤについているゴミ、小石等は全て取り除いて下さい。
- (6)スタートスイッチを押す前に、必ずホイールガードをセットして下さい。
- (7)落雷時には電源を必ず切って下さい。異常電圧の発生で本体内部の電子部品を壊す恐れがあります。
- (8)本機を清掃する場合は、水洗いを絶対にしないで下さい。
- (9)本機を移動する場合は、主軸を持って移動したり主軸に衝撃を与えないで下さい。
- (10)本機はレーザー光を用いています。使用者や近くにいる人もレーザーの発光源を覗き込まないで下さい。(レーザークラス:クラス2)



危 険

電気部品に触れる必要の場合は必ず元電源を切ってください。元電源を入れたまま電気部品に触れる必要のある時には端子等、通電部品に絶対触れないようにして下さい。
※死亡又は重傷の可能性があります。



(3)一般的な注意事項

- ①取扱説明書をよく読みよく理解してから使用して下さい。
- ②このホイールバランサーは使用方法を熟知した人以外は使用しないで下さい。
- ③始業点検及び定期点検は取扱説明書の本文に従って必ず実施して下さい。
- ④運転時に異常な状態の時は、ホイールバランサーの使用を禁止して電源を切り、お買い上げの販売店に連絡して下さい。
- ⑤本機は防水仕様になっていませんので、屋外設置や水による洗浄は避けて下さい。
- ⑥このホイールバランサーはタイヤ・ホイールのバランス測定以外には使用しないで下さい。

(4)設置上の注意

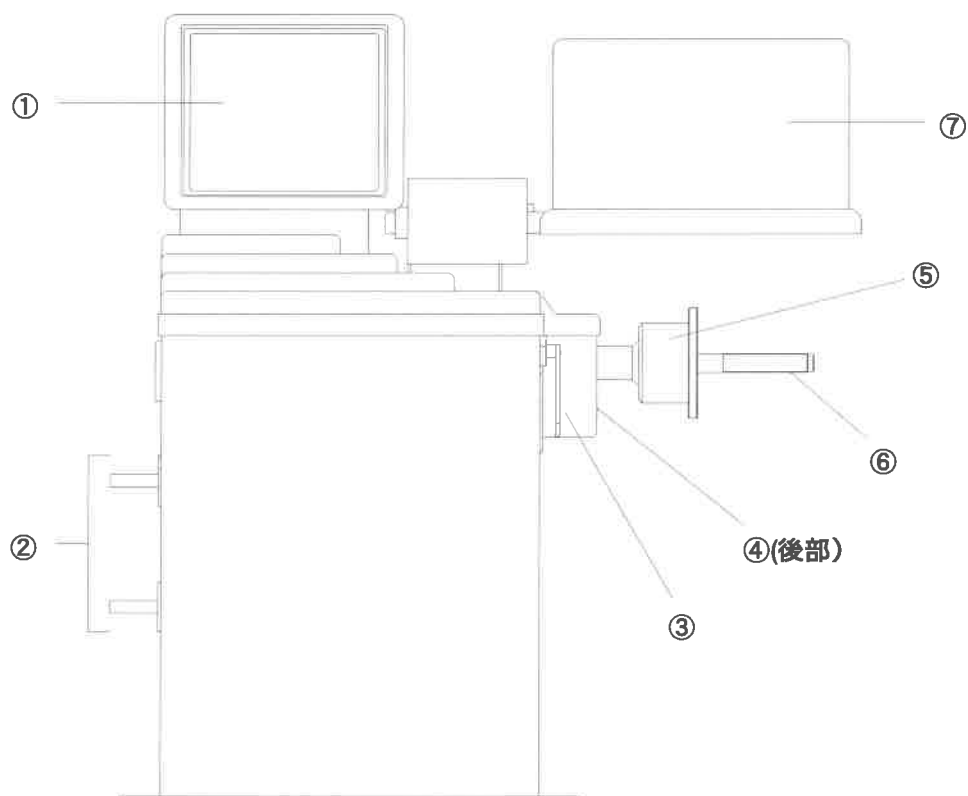
- ①本機の据付は平坦なコンクリート上に標準付属品のアンカーボルト4本でしっかりと固定して使用して下さい。アンカーボルトでの固定を怠ると本機の転倒防止としては勿論のこと、タイヤのアンバランス以外の振動をキャッチすることになり、正確な測定結果が得られません。
- ②本機内部には多くの電気部品を使用しており、水気は故障の原因となります。
本機の設置場所は下記のところは絶対に避けて下さい。
 - ・ 雨水のかかる場所
 - ・ 水をよく使い湿気の多い場所
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 特にほこりの多い場所
 - ・ 振動の多い場所
- ③本機を移動する場合は主軸を持って移動したり、主軸に衝撃を与えないで下さい。
- ④設置の際に感電事故の防止のために必ずアース設置を施して下さい。
尚、ガス管などの爆発の危険があるものには絶対に接続しないで下さい。
- ⑤3相200Vの配線工事は必ず動力工事事務所に依頼して下さい。
電源は本機の近くに必ず1.5 kW以上の専用ブレーカを設置してそこから配線して下さい。
又、本機の回転方向はウエイトカバーの矢印方向にして下さい。

(5)レーザー光について

- ①本機は赤色レーザー光を採用しています。
- ②使用者や近くにいる人もレーザーの発光源を覗き込まないで下さい。
- ③直射日光の当たる場所で使用になると、レーザー光が検出しにくくなりますので、設置する場所にご注意下さい。
また、本機の近くには赤外線ヒーターや高輝度のランプを置かないで下さい。
- ④本機はレーザーにより、ホイールの輪郭を認識するようにプログラムされています。
ホイールがメッキホイールの場合、レーザー光が検出しにくくなり、ホイールの輪郭を認識できない場合があります。
また、ホイールの内面が幾何学的に極端な形で形成されているようなホイールの場合もホイールの輪郭を認識できない場合があります。
このような場合は、スケール入力でホイールデーターを入力することにより、正確にバランスを測定することができます。

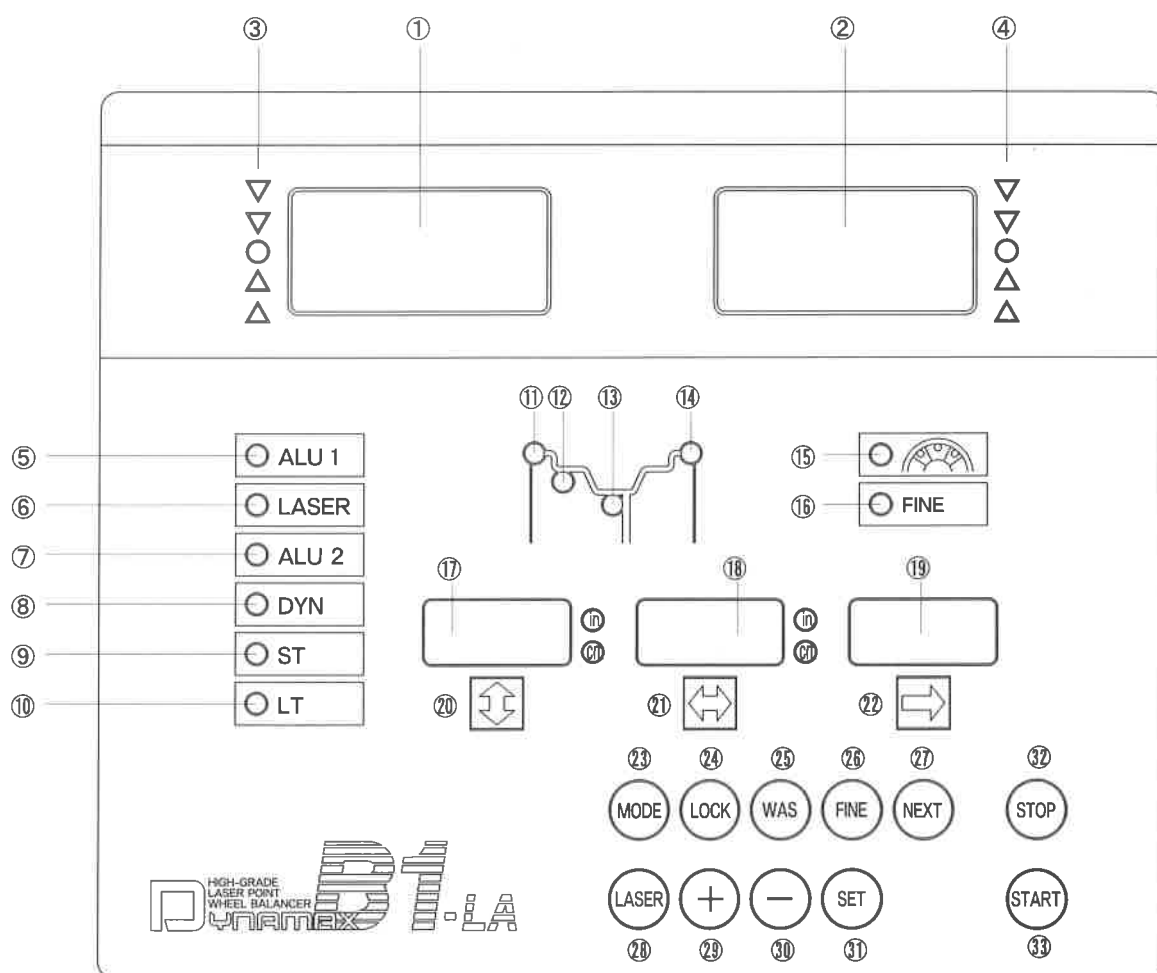
4. 各部の名称と機能

(1) 各部の名称



- ①操作部
- ②パーツハンガー
- ③ディスタンススケール
- ④レーザーセンサー
- ⑤主軸
- ⑥センター軸
- ⑦ホイールガード

(2) 操作部の名称



- | | |
|--------------|---------------------|
| ①イン側グラム表示 | ⑬アウト側貼付ランプ／スタチックランプ |
| ②アウト側グラム表示 | ⑭アウト側打込ランプ |
| ③イン側ポジション表示 | ⑮WASモード |
| ④アウト側ポジション表示 | ⑯ファインモード |
| ⑤アルミ貼付－貼付モード | ⑰リム径表示 |
| ⑥レーザーモード | |
| ⑦アルミ打込－貼付モード | |
| ⑧両面打込モード | |
| ⑨スタチックモード | |
| ⑩ライトトラックモード | |
| ⑪イン側打込ランプ | |
| ⑫イン側貼付ランプ | |
| | ⑱リム幅表示 |
| | ⑲ディスタンス表示 |
| | ⑳リム径スイッチ |
| | ㉑リム幅スイッチ |
| | ㉒ディスタンススイッチ |
| | ㉓モードスイッチ |
| | ㉔ロック／解除スイッチ |
| | ㉕WASスイッチ |
| | ㉖ファインスイッチ |
| | ㉗NEXTスイッチ |
| | ㉘レーザースイッチ |
| | ㉙＋スイッチ |
| | ㉚－スイッチ |
| | ㉛セットスイッチ |
| | ㉜ストップスイッチ |
| | ㉝スタートスイッチ |

5.操作手順

(1)ホイールの装着手順



注 意

測定ホイールはいずれの場合も、古いバランスウエイト、タイヤの溝にはさまっている小石や異物を全て取り除いてください。
ハメ合い部とあたり面はゴミ・砂などが付着していないことを確認したあと、次のように正しく取り付けてください。

(A)バックコーンとして使用する場合

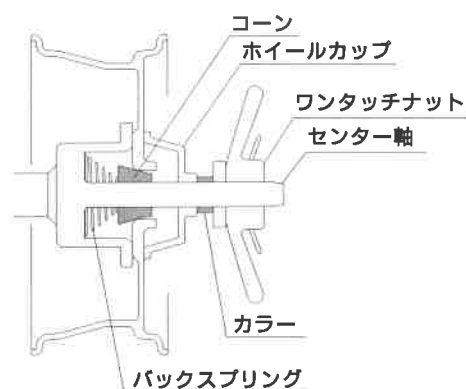
図①のようにセンター軸にバックスプリングとホイールのハブ穴に合ったコーンを入れホイールをコーンの上にのせます。

次にホイールカップとカラーをはめ、
ワンタッチナットで締めつけます。

この時コーンが奥まで入り込むような場合はバックコーンとスプリングの間に、一番短いカラーを入れて使用して下さい。

(バネの収縮が少ないので、カラーを入れて収縮を大きくして、コーンによるセンター出しを正確にします)

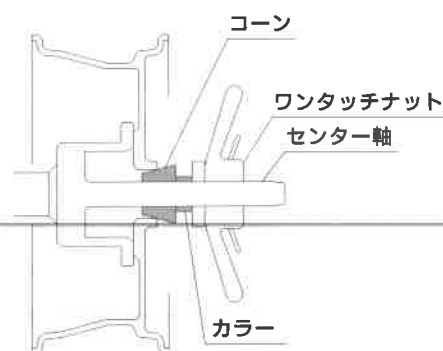
【①バックコーンの場合】



(B)フロントコーンとして使用する場合

図②のようにハブ穴に適したコーンと、カラーを用いてワンタッチナットでホイールを締めつけます。

【②フロントコーンの場合】



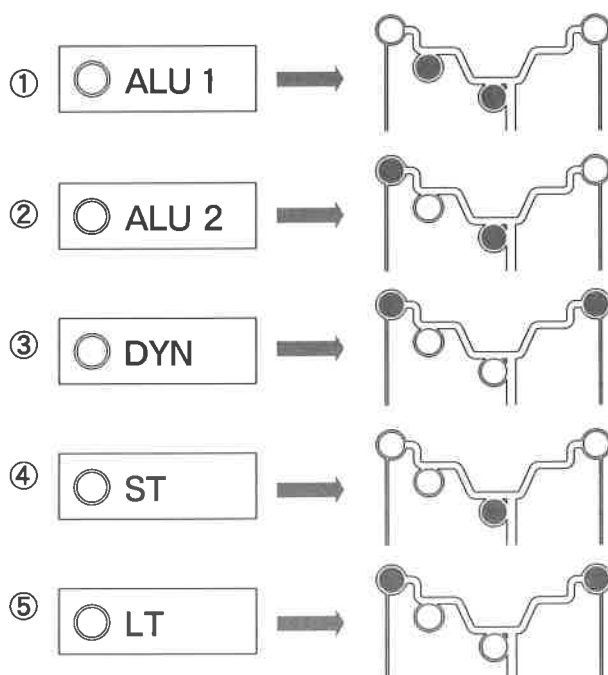
(2)モードの切り替え

MODE ボタンを押すと①ー②ー③ー④ー⑤ー①の順にモードが選択されます。
また、モードと連動してホイールランプが切り替わります。

【モード表示】

①	☐ ALU 1	アルミ貼付 —— 貼付
	☐ LASER	レーザー
②	☐ ALU 2	アルミ打込 —— 貼付
③	☐ DYN	両面打ち込み
④	☐ ST	スタチック (MCなど)
⑤	☐ LT	LT (ライトトラック)

【ホイールランプ】



(3) 測定手順

1. アルミの両面貼付の場合

MODE を **ALU1** にして下さい。

1-1. レーザー自動入力の場合

LASER ボタンを押して **LASER** ランプを点灯させます。

START ボタンを2度押すと、レーザーが主軸の後から出てきて、ホイール形状を読み取ります。

レーザーが戻ってきたら、ホイールデータが入力され、自動的にバランス測定に入りタイヤが回転します。また **LASER** ランプは消灯します。

バランス測定後、アンバランス量が表示され、自動的に停止します。次に I N 側のアンバランスポイントに自動的に移動して停止します。そしてレーザーが出てきてウエイト取付位置をレーザーポイントします。

NEXT ボタンを押せば、O U T 側のアンバランスポイントに自動的に移動して停止します。そしてレーザーが O U T 側に移動しウエイト取付位置をレーザーポイントします。

レーザーポイントの位置に表示されたウエイトを取り付け、修正結果の確認をするため

START ボタンを2度押すと、レーザーが収納され、再度バランス測定を行います。

同じホイールを続けて測定する場合は、そのまま **LASER** ランプは消灯したまま

START ボタンを2度押すだけで、バランス測定を行い、アンバランス位置をレーザーポインターします。

別のホイールを測定する場合は、ホイールサイズが異なるので、**LASER** ボタンを押して **LASER** ランプを点灯させ、**START** ボタンを2度押し、レーザーがホイールデータを読み取ります。



注 意

ホイールサイズが内径で300mm未満の場合やホイールがメッキホイールやホイールの形状により、レーザーがホイール形状を読み取れなかった場合はエラーを表示し動作が停止します。

このような場合はホイールデータをスケールで入力して下さい。

レーザーが出ているとき **STOP** ボタンを押すと、レーザーが収納されレーザーの動作がリセットされます。従って、そのまま **START** ボタンを押してバランス測定をしても、レーザーポイントはしません。

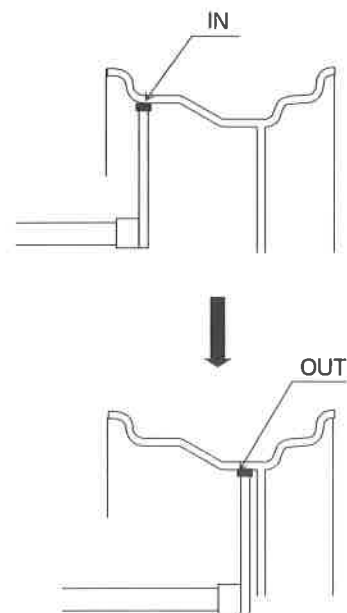
レーザーが出ているとき **LASER** ボタンを押すと、レーザーの動作を記憶したままレーザーを収納するので、そのまま **START** ボタンを押してバランス測定をしても、レーザーポイントをします。

1-2. スケール自動入力の場合

スケールのヘッドを内側の I N 側貼付け位置の中心に当てます。ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻し **STOP** ボタンを押してから再度入力をやり直して下さい。(約 1 秒間停止しているとセットされます)

I N 側にセットされたら、次にそのまま O U T 側の貼付け位置の中心にスケールを伸ばし、ヘッドの中心を当て修正面幅を入力させます。

入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなければ I N 側に【E-E】と表示してスタートしません。



START ボタンを 2 度押して、タイヤが回転しバランス測定を行います。

バランス測定後、アンバランス量が表示され、自動的に停止します。次に I N 側のアンバランスポイントに自動的に移動して停止します。そしてレーザーが出てきてウエイト取付位置をレーザーポイントします。

NEXT ボタンを押せば、O U T 側のアンバランスポイントに自動的に移動して停止します。そしてレーザーが O U T 側に移動しウエイト取付位置をレーザーポイントします。

レーザーポイントの位置に表示されたウエイトを取り付け、修正結果の確認をするため

START ボタンを 2 度押すと、レーザーが収納され、再度バランス測定を行います。



注 意

ホイールサイズが内径で 13 インチ未満は、レーザーポイントを行いません。
この場合は、ウエイト取付は I N 側・O U T 側共に真上にウエイトを取付けて下さい。

ディスタンス値 + リム幅値 = 22.1cm 以上ならば、レーザーポイントは届かないので O U T 側は 22.0cm のポイントでレーザーポインターを行います。



注 意

ホイールが深くスケールが O U T 側入力位置まで十分に届かない時は、届くところまでスケールを引き出し入力後スケールを戻し、修正面幅を定規で測り、

↔ スイッチを押し **+** 又は **-** スイッチで定規で測った値を cm で入力し

SET スイッチを押して下さい。

(例えば修正面幅が 14.5cm ならば **1** **4** **5** と設定して下さい)

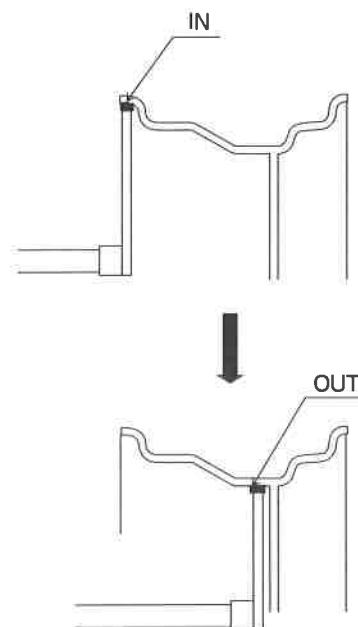
この場合、貼付位置はレーザーポインターを行いませんので、ウエイト取付は I N 側 O U T 側共に真上にウエイトを取付けて下さい。

2. アルミの打込－貼付の場合

MODE を **ALU2** にして下さい。

スケール自動入力（レーザーは使用できません）

スケールのヘッドを内側の I N 側打込み位置に当てます。
ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。
なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻し **STOP** ボタンを押してから再度入力をやり直して下さい。（約 1 秒間停止しているとセットされます）
I N 側にセットされたら、次にそのまま O U T 側の貼付け位置の中心にスケールを伸ばし、ヘッドの中心を当て修正面幅を入力させます。
入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなければ I N 側に【E－E】と表示してスタートしません。



START ボタンを2度押して、タイヤが回転しバランス測定を行います。

バランス測定後、アンバランス量が表示され、自動的に停止します。次に I N 側のアンバランスポイントに自動的に移動して停止します。ウエイトは真上に打ち込みます。

NEXT ボタンを押せば、O U T 側のアンバランスポイントに自動的に移動して停止します。そしてレーザーが出てきて、O U T 側のウエイト取付位置をレーザーポイントします。

レーザーポイントの位置に表示されたウエイトを取り付け、修正結果の確認をするため

START ボタンを2度押すと、レーザーが収納され、再度バランス測定を行います。



注 意

ディスタンス値＋リム幅値＝22.1cm以上ならば、レーザーポイントは届かないので O U T 側は 22.0cm のポイントでレーザーポインターを行います。



注 意

ホイールが深くスケールが O U T 側入力位置まで十分に届かない時は、届くところまでスケールを引き出し入力後スケールを戻し、修正面幅を定規で測り、

 スイッチを押し **+** 又は **-** スイッチで定規で測った値を cm で入力し

SET スイッチを押して下さい。

（例えば修正面幅が 14.5cm ならば **1** **4** **5** と設定して下さい）

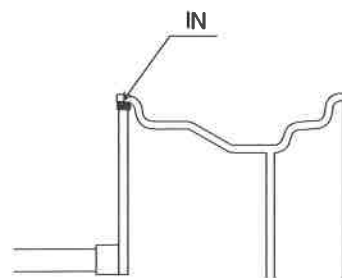
この場合、貼付位置はレーザーポインターを行いませんので、ウエイト取付は I N 側 O U T 側共に真上にウエイトを取付けて下さい。

3. 両面打込の場合

MODE を **DYN** にして下さい。

1. ディスタンス・リム径の入力

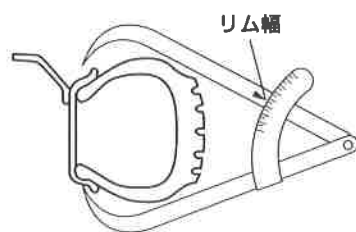
スケールのヘッドを内側のIN側打込み位置に当てます。
ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。
なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止すると
セットされてしまいますので、このような場合は一度スケール
を戻し**STOP** ボタンを押してから再度入力をやり直
して下さい。（約1秒間停止しているとセットされます）
入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなけ
ればIN側に【E-E】と表示してスタートしません。



2. リム幅の入力

タイヤパス（リム幅ゲージ）を図のように、イン・アウト両側
のリムに当て、ゲージの幅を読みとり、**↔** スイッチを
押し **+** 又は **-** スイッチで読み取った値を入力し
SET スイッチを押して下さい。

（例えばリム幅が4.5 Jならば **4** **5** と設定して下さい）



START ボタンを2度押して、タイヤが回転しバランス測定を行います。

バランス測定後、アンバランス量が表示され、自動的に停止します。次にIN側のアンバ
ラン スポイントに自動的に移動して停止します。ウエイトは真上に打ち込みます。

NEXT ボタンを押せば、OUT側のアンバランスポイントに自動的に移動して停止しま
す。ウエイトは真上に打ち込みます。

4. スタチックモードの場合

MODE を **ST** にして下さい。

ディスタンス・リム径の入力

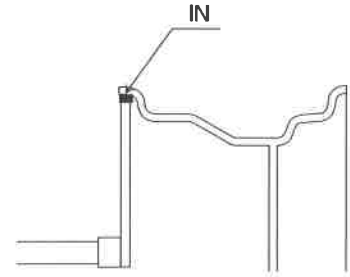
スケールのヘッドをウエイト取付位置に当てます。

打込ホイールならホイール耳部、貼付ホイールなら貼付部にスケールヘッドを当てます。

ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。

なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻し **STOP** ボタンを押してから再度入力をやり直して下さい。（約1秒間停止しているとセットされます）

入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなければIN側に【E-E】と表示してスタートしません。スタチックではリム径のみ入力するだけで結構です。



START ボタンを2度押して、タイヤが回転しバランス測定を行います。

バランス測定後、アンバランス量が表示され、自動的に停止します。次にアンバランスポイントに自動的に移動して停止します。ウエイトは真上に取付けます。

5. LTモードの場合

MODE を **LT** にして下さい。

入力方法・ウエイト取付方法は、両面打込 **DYN** と同じ方法です。

両面打込 **DYN** を参照下さい。

●修正結果の確認

ウエイト取付け作業が終了したら、再度スタートスイッチを押しチェックします。バランス修正がOKならばイン・アウト共に【000】と表示されます。1度でOKしない場合は表示に従い再度バランス修正を行って下さい。

●ファインスイッチ

FINE スイッチを押すことにより、通常5 g単位表示が1 g単位で表示されます。

●ロック／解除スイッチ

バランス測定後、自動的にアンバランス位置でロックがかかります。ロックするのは約20秒間 ロックして、その後解除されます。再度 **LOCK** スイッチを押すことにより、アンバランス位置でロックされます。また、ロック中に **LOCK** スイッチを押すとロック解除します。

(4) WAS機能の使用法

WASは **ALU1** 又は **ALU2** モードの時、アルミホイールでスポークホイールのバランス修正時、ウエイトが外側から見え、ホイールの美観を損なう場合、WAS機能でウエイトを2本のスポークの裏側に分割して貼り付ける機能です。

WAS使用法は2パターンあります。

- A. レーザーポインター有りの場合
- B. レーザーポインター無しの場合

A. レーザーポインター有りの場合

アウト側のアンバランス表示の時にレーザーポインターしている場合。

- ①アウト側の貼り付ける位置がスポークの裏側でない位置をレーザーポインターしている時に **WAS** スイッチを押すとロックが解除し、WASモードのランプが点灯して、イン側グラム表示が【SP1】となります。
- ②アウト側のアンバランス位置に一番近い位置の、スポークの2本の内のどちらかのスポークを、レーザーポインターを見てホイールを回し **SET** スイッチを押して下さい。
- ③イン側グラム表示が【SP2】となります。
次にもう1本のスポークをレーザーポインターを見てホイールを回し **SET** スイッチを押して下さい。
- ④アウト側グラム表示にスポークの2本目のアンバランス量が表示され、ロックされます。
- ⑤次に **NEXT** スイッチを押すと自動的にスポークの1本目の位置に移動・停止・ロックし、アンバランス量を表示します。
- ⑥さらに **NEXT** スイッチを押すと自動的にイン側のアンバランス位置に移動・停止・ロックし、アンバランス量を表示します。

NEXT スイッチを押すたびに【SP2】→【SP1】→【IN】→【SP2】と移動・表示を繰り返します。ウエイトの取付けを終わったら **START** スイッチを2度押して、測定を行います。

WAS時はアンバランス量は1g単位で表示します。

途中でWASモードを解除したい時は **WAS** スイッチを押すと解除され、WASモードをする前の状態に戻ります。



B. レーザーポインター無しの場合

アウト側のアンバランス表示の時にレーザーポインターしてない場合。

ウエイト取付位置が真上の場合。

- ①アウト側の貼り付ける位置がスポークの裏側でない時に **WAS** スイッチを押すと、
ロックが解除し、WASモードのランプが点灯して、イン側グラム表示が【SP1】となります。
- ②アウト側のアンバランス位置に一番近い位置の、スポークの2本の内のどちらかのスポークを、ホイールを回して真上の位置で **SET** スイッチを押して下さい。
- ③イン側グラム表示が【SP2】となります。
次にもう1本のスポークをホイールを回し真上の位置で **SET** スイッチを押して下さい。
- ④アウト側グラム表示にスポークの2本目のアンバランス量が表示され、ロックされます。
- ⑤次に **NEXT** スイッチを押すと自動的にスポークの1本目の位置に移動・停止・ロックし、アンバランス量を表示します。
- ⑥さらに **NEXT** スイッチを押すと自動的にイン側のアンバランス位置に移動・停止・ロックし、アンバランス量を表示します。

NEXT スイッチを押すたびに

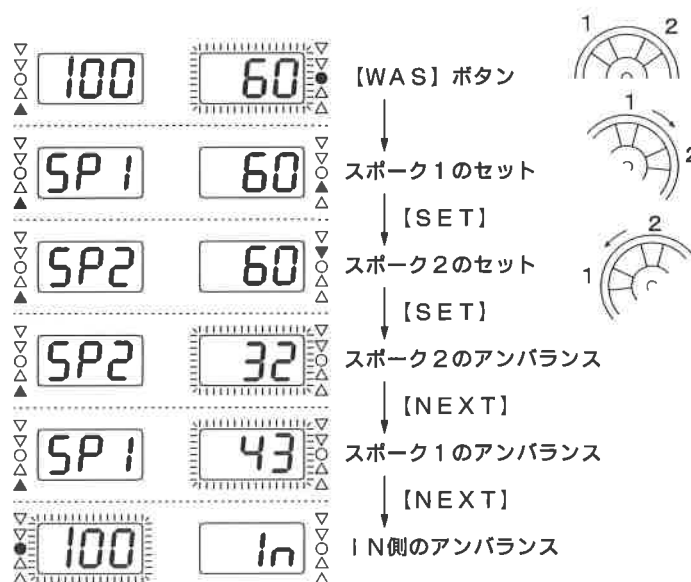
【SP2】→【SP1】→【IN】→【SP2】
と移動・表示を繰り返します。

ウエイトの取付けを終えたら

START スイッチを2度押して、測定を行います。

WAS時はアンバランス量は
1 g単位で表示します。

途中でWASモードを解除したい時は **WAS** スイッチを押すと解除され、WASモードをする前の状態に戻ります。



6.標準付属品・オプション部品

●標準付属品

- ①コーンS・M・L・LL・3L
- ②カップ
- ③バックスプリング
- ④カラーC1・C2
- ⑤ワンタッチクイックナット
- ⑥センター軸
- ⑦タイヤパス
- ⑧ウエイトブライヤー
- ⑨アンカーボルト
- ⑩センター軸締め付けボルト（3本）
- ⑪締め付けレンチ
- ⑫ホイールガード
- ⑭取扱説明書
- ⑮保証書

●オプション部品

- ①4Lコーンセット
- ②LTアダプターセット
- ③フランジアダプターセット

7.定期点検

(1)定期点検

期 間	点 検 箇 所	点 検 項 目	点 検 要 領
3 ヶ月毎	先端軸	緩み	増し締めをする

(2)消耗品

次の部品は使用頻度(損傷・磨耗状態)により新品と交換してください。

品 名	部 品 番 号	販 売 単 位	備 考
カップのゴム		1	1 / 1 台
ベルト 5M-2-1250		1	1 / 1 台

8.故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度確認してください。

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不都合がある場合は弊社、もしくはお買上げ販売店に御相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	お客様のブレーカのヒューズが切れている	ヒューズを交換する
電源が入るけれどもホイールが回転しない	お客様のブレーカのヒューズのうち1本が切れている	ヒューズを交換する
他のホイールのバランスは修正出来るけれどもそのホイールだけが修正出来ない	タイヤの中に異物、水などが入っている	異物、水などを取り除く
【E-E】と表示する	スケールが出ている	スケールを最後まで戻す

その他の症状について

(1) バランスの修正ミス (イン・アウトの修正位置が逆になっているとか修正位置が間違っていないか)

(2) 1回でOKしない場合

アンバランス量が多い場合 (50 g を越えるような場合)

若干の測定誤差とウエイト量の誤差、及びウエイトの打ち込み位置のそれによって1回でOKしない場合が出てきます。故障ではありません。

(1) 自己校正

- 自己校正はバランス修正が日常の使用でタイヤ・ホイールバランスが良好でない時に実施してください。
- 自己校正は一般的なスチールホイール（13～15インチ）程度を使用してください。
参考：正確な修正結果を得るためには、アンバランスの少ないホイールが必要です。
（最大40g）

操作手順

- ①13～15インチ程度のホイールを balanサーに取り付けてください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー】とでたらスタートスイッチを離して下さい。
- ③リム径入力スイッチ()を押して下さい。IN側表示が【Pー1】となります。
- ④通常の測定と同じようにディスタンス、ホイール径、ホイール幅を入力して下さい。
- ⑤スタートスイッチを押してホイールを回転させてください。回転が止まったらIN側表示に【100】と表示されます。通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に50gウェイト2個を取付けてください。ウェイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
- ⑥回転が止まったらOUT側表示に【100】と表示されます。IN側の50gウェイト2個を取り外して、通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に50gウェイト2個を取付けてください。ウェイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
回転が止まったら自己校正は完了です。
（操作が間違っていなければ balanサーの精度は正確に校正されます。）



注 意

OUT側に100gを取り付ける時は正確に取り付けてください、

(2) 軸アンバランス校正

- ホイールなど何も付けずに balanサーを回転させて測定したときにアンバランスが表示される時は取付け誤差の原因となりますので次の方法で修正して下さい。

操作手順

- ① balanサーにはホイール・タイヤなど、何も取り付けずにください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー】とでたらスタートスイッチを離して下さい。
- ③リム幅入力スイッチ()を押して下さい。IN側表示が【Pー2】となり、OUT側表示が【001】と表示されます。
- ④スタートスイッチを押して回転させて下さい。
- ⑤回転が停止したら、OUT側表示が【002】と表示されます。
- ⑥再度スタートスイッチを押して回転させて下さい。回転が停止したら軸アンバランス校正は完了です。

9.仕様

型 式	DX-B1-LA	
電 源	3相 200V	
モ ー タ ー	0.4kW 6Pブレーキモーター	
測 定 回 転 数	約240rpm (50/60Hz)	
測 定 方 式	両面同時測定	
適 応 ホ ー ル 径	レーザー	14" ～30" (内径300mm～800mm)
	スケール	10" ～26"
適 応 ホ イ ー ル 幅	2" ～15"	
最 大 測 定 重 量	75kg	
最 大 タ イ ヤ 外 径	900mm	
測 定 範 囲 g	0～500g	
使 用 周 囲 照 度	太 陽 光：10,000ルクス以下 白熱ランプ：3,000ルクス以下	
本 体 重 量	約150kg	

10. 製品保証規定

(1) 保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後1年以内）に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は保証はいたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合（例：型式及び機体番号の連絡が無い場合 etc）。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

このホイールバランスは屋外設置及び防水仕様にはなっておりませんので、
錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。

(2) 保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報ください。必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の8項の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますのでお買上販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせください。	
お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせください。 型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

型 式	
機 体 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 会 社	社名 担当者
	住所 電 話
設 置 業 者	社名 担当者
	住所 電 話
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日
	年 月 日

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

取扱説明書

品 名 ホイール balans ー

型 式 **DYNAMAX B1-LA**

初 版 発 行 月 日	平 成 2 2 年 1 月 1 日
-------------	---------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	-----------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	-----------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	-----------------------------

編 集 兼 発 行 者	機 工 技 術 部
-------------	-------------------

発 行	小 野 谷 機 工 株 式 会 社
--------------------------	-------------------

無断複写・掲載を禁ず

ONODANI 小野谷機工株式会社

本社／福井県越前市家久町63-1 ☎(0778)22-2124(代)

営業所／札幌	☎(011)791-8588	大宮	☎(048)645-0891
仙台	☎(022)255-7408	新潟	☎(025)281-8251
秋田	☎(018)864-7875	名古屋	☎(052)354-1021
東京	☎(03)5970-6011	大阪	☎(06)6701-7315
横浜	☎(045)593-8860	福岡	☎(092)582-6743

「販売会社又は施工業者の方へお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。